

事業報告書

団体名：那須与一堂を守る会

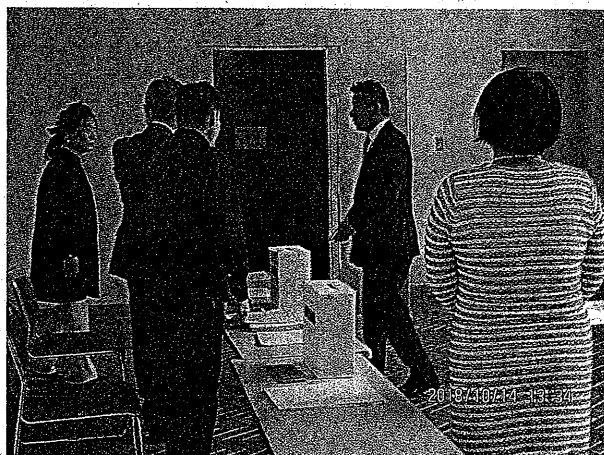
1. メニュー名	(1) スタート事業
2. 事業名	亀岡の歴史を語る～『那須与一』講談会の開催 「那須与一堂」保護事業
3. 実施場所	ガレリアかめおか 響きホール
4. 期間	平成30年10月27日(土)まで
5. 目的と課題	支援金申請に書いた、申請事業の目的と設定した地域の課題を改めて現状や課題を具体的に記入してください。

『那須与一堂』は、平安時代に安倍晴明が創建した法楽寺の本尊「阿弥陀如来坐像」が現存し、また、源平の戦いにおいて重要な戦局となった屋島の合戦に向かう那須与一が参拝し手柄を立てたという伝説ある御堂です。その本尊が平安時代に作られたことが最近専門家によって証明され、文化財としても非常に価値があることが判明されました。享保年間(1716年)に法楽寺が火災消失してからは、地元住民の有志によって約300年間手厚く守ってきました。近代においては、子どもたちも集う公園のように遊べる場所でありましたが、保全を担って来た奉賛会の方々の高齢化(90歳以上)・会員の減少に伴い、当会における維持・継承が困難と判断されたことを受け、亀岡市各地に在住する市民有志によって、この度「那須与一堂を守る会」を結成しました。この文化財(阿弥陀如来坐像)および那須与一堂を保護し、再び市民が気軽に訪れることができる場として再生するための活動(現地の掃除・整備や建物保全、また地域における当文化財の認知を高めるための活動等)を本年より開始しました。

那須与一伝説は全国区で知られるもので、ここに保管される仏像並びに御堂も亀岡市民の財産ともなるべき文化財でありながら、老朽化も進み、このままでは天災等による御堂の存続も含めて危ぶまれる状況となっています。今こそ、市民への認知を高め、市民力で守り継承する活動が必要となり、これは亀岡市に残されてきた歴史と文化財保護の観点からも重要と考えます。

6. 事業内容	上記の課題を解決するために実施する事業の内容を具体的に記入してください。 (例：実施スケジュール、会場、内容、講師名、対象者、情報発信方法等)
<p>この度、亀岡の歴史を語る～『那須与一』講談会の開催 「那須与一堂」保護事業を実施するにあたり、7月15日から運営会議を行いました。10月14日の開催に向けてFacebook・チラシなどで情報発信を徹底致しました。</p> <p>当日の講談会については、以下の通り。</p> <p>場所：亀岡ガレリア響きホール</p> <p>日時：平成30年 10月14日(土)、13時開場 開演13時30分～16時</p> <p>来客：約200名(亀岡市・市外)</p> <p>【演目】講談 「応挙の幽霊」・「那須与一堂物語」 旭堂南舟(講談師)</p> <p>日本舞踊 地唄邦楽 扇の的狂言 若柳吉乃富 お琴 伊藤いづみ・井上さやか</p> <p>尺八 高屋輝山</p> <p>狂言 「那須語」茂山童司 (狂言師)</p> <p>講談会の最初と終わりの挨拶では、那須与一堂の現状と存続の問題について参加者のかたがたに説明し、理解を深めていただきました。</p> <p>なお、参加者の年齢層については8割ほど方が50歳以上の方々でした。</p> <p>10月27日、講談会の反省と今後の展開について会議を行いました。</p>	
7. 目標	本事業の実施が地域課題解決にどのようにつながるのか、また本事業で達成したい目標について、アウトプット(事業の参加者数などの目標)とアウトカム(課題解決を評価する目標)の2つの観点から記入してください。
<p>私たちは、この亀岡で守られてきた文化や風土を守り、継承していくことを第一と考え、以下のことを目標としていきます。</p> <p>まず、国宝や重要文化財は、国や市町村などが管理し保全されますが、それに属さない文化財や史跡財産は、どの地域でも保全していくことは大変難しくなっていくことは否めません。この那須与一堂プロジェクトを実施していくことは、今後、亀岡市において、強いては我が国においても貴重な地域の史跡財産の保全していく事例となることは間違いありません。</p> <p>そのためにも、地域独自のストーリーを強調し、多くの市民に郷土愛を育む展開を地域のか方々と協力していきます。</p> <p>そもそも、この焼仏である阿弥陀如来像が、今日まで守り続けてこられてきたことは、この亀岡の風土や地域に育む文化があったからで、これは正に「住民の精神性に関わること！」と私たちは考えます。</p>	
8. 連携・協力	他の団体や行政機関などとの連携・協力について、連携・協力先の名称と具体的な連携・協力内容を記入してください。 ※記入にあたっては、連携・協力先との十分な事前協議を行ってください。
那須与市堂奉賛会・下矢田町自治会	

9. 既実施時の課題と成果	※本支援金を過去に交付した事業の継続申請の場合は記入してください。 事業実施時の課題と成果、また、今回の申請にどのように課題と成果を反映したのかを前回交付時の報告書と対比させて、具体的に記入してください。
成果： 今回、200名以上超える来場者があり、那須与一堂の知名度を上げる成果を得られた。 課題： 今回の事業が年に一回だけの実施であったので、今後は定期的な活動が必要である。	
10. 支援終了後の展開	本支援金による支援終了後の事業展開について、資金の獲得や事業の継続展開をどのように行われる予定なのか、方法を具体的に記入してください。
<p>支援終了後は、講談会やFacebookを通して「那須与一堂を守る会」への参加者を呼びかけ、会費や寄付金による自己資金の確保をしながら、さらに保全や会員増へとつながる活動を展開しつつ、同時に、地元企業などへの法人としての活動への参加などを働きかけ、各イベントや活動における協賛協力をいただき、徐々に自己資金で必要な費用を確保できるようにしていきたいと考えています。</p> <p>会費及び寄付金の用途は飽くまでも、那須与一堂の保全活動や認知活動（絵本制作／無償配布）に充当することを明確にした方針をFacebookや文書に掲載し、ゆくゆくは亀岡市民以外にも、那須与一に縁のある方々のご支援も、Facebookを通じて募って行きたいと考えています。</p>	



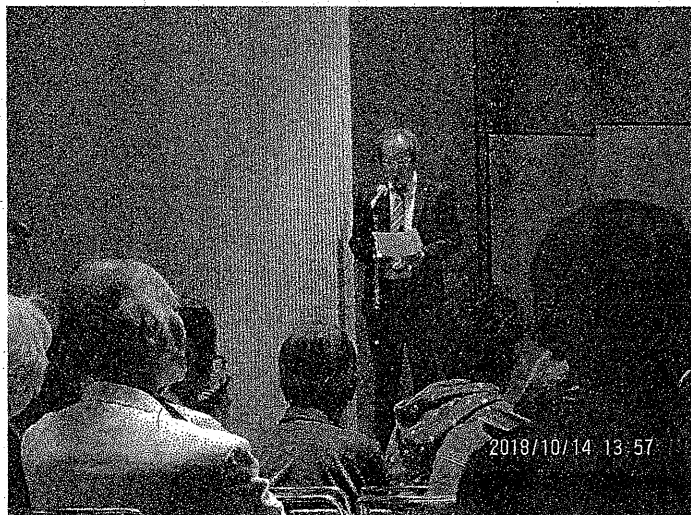
受付



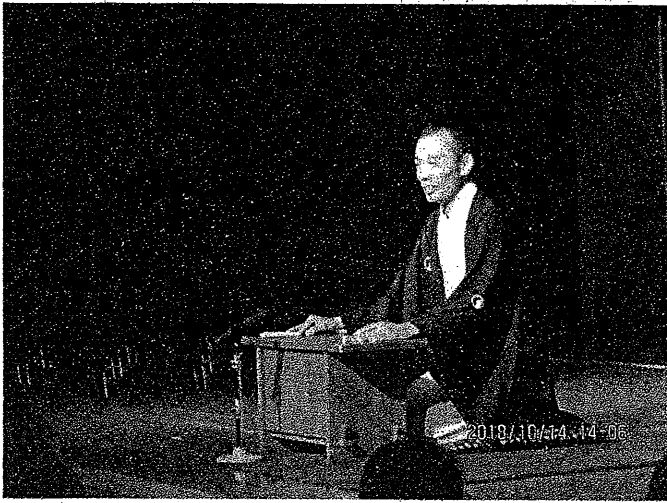
受付



会場の様子



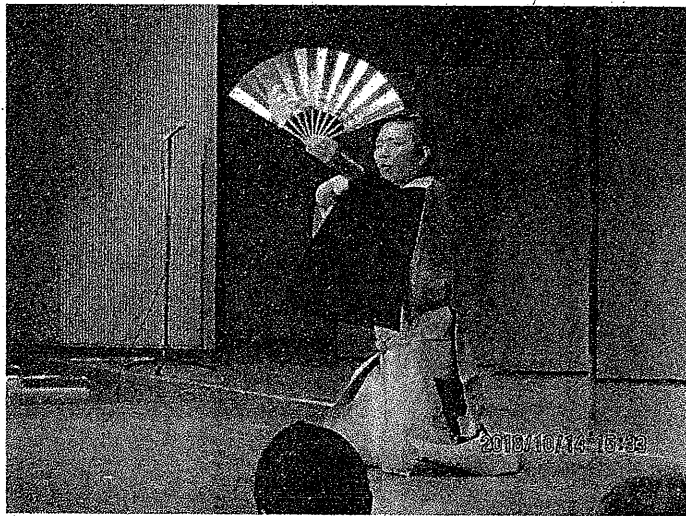
亀岡市教育長挨拶



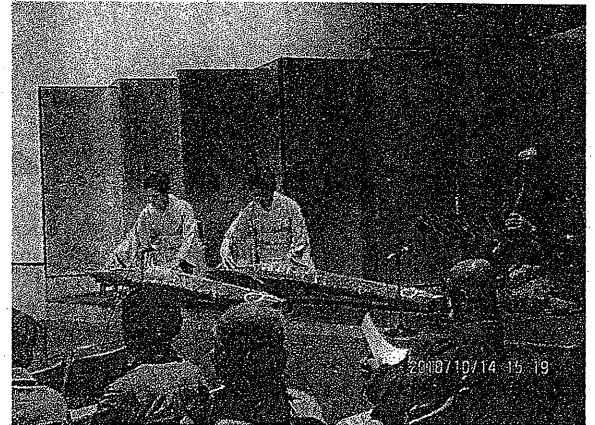
講談 旭堂南舟さん



日舞 若柳吉乃富 「屋島」



狂言 茂山童司 「那須語」



邦楽



終わりの挨拶